【予告】　帯広畜産大学別科（草地畜産専修）の改組について

令和元年８月１日

帯広畜産大学別科（草地畜産専修）について，令和２年度入学者から，下記のとおり改組を計画しておりますので，お知らせします。

【現行】

名称	別科（草地畜産専修）
入学定員	３０人 （推薦入試：１７人，一般入試：１３人）
教育目標	将来農村に残り，我が国の食料を自分の手で生産することを決意した農業青年に対し，畜産・酪農を中心とする畜産科学の基礎教育を２年間で行い，地域農村社会の指導者となるような農業後継者を育てる。
修了要件単位数	８１単位 うち農場実習：３単位（９０時間）
推薦入試の出願資格・要件 （一部抜粋）	将来農業経営を目指す者で，人物学力ともに優秀であり，高等学校若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦できる者

⇩

【改組後】

名称	別科・酪農専修
入学定員	１５人 （推薦入試：１０人，一般入試：５人）
教育目標	酪農に関わる基本的知識と技能を備え，食と農の大切さを基礎として「農場から食卓まで」の幅広い視点で酪農に適応できる知識と実践力を有し，国際的視野で地域の酪農を担い，日本の酪農産業をリードできる人材を育成する。
修了要件単位数	６６単位 うち酪農実習：２０単位（６００時間）
推薦入試の出願資格・要件 （一部抜粋）	酪農後継者，新規就農及び酪農産業への参入を目指す者で，人物学力ともに優秀であり，高等学校若しくは中等教育学校長が責任をもって推薦できる者

※入試の実施教科・科目等については変更ありません。

※令和２年度の入学定員については改組後の人員で入試を実施しますが，本計画は令和２年度予算の関係で現時点では未確定であり，政府予算案決定に際し認められなかった場合は，現行の人員とし，追加の募集要項を発表することがあります。（政府予算案決定は令和２年１月頃の予定）

草地畜産専修から酪農専修へ

帯広畜産大学
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

別科の役割

農業の担い手育成（幅広い酪農畜産の基礎教育）

従来の教育目標

帯広畜産大学別科の目的は、将来農村に残り、我が国の食料を自分の手で生産することを決意した農業青年に対し、畜産・酪農を中心とする畜産科学の基礎教育を2年間で行い、地域農村社会の指導者となるような農業後継者を育てる。

別科教育体制の充実

新しい教育目標

別科教育において、酪農に関わる基本的知識と技能を備え、食と農の大切さを基礎として「農場から食卓まで」の幅広い視点で酪農に適応できる知識と実践力を有し、**国際的視野で地域の酪農を担い、日本の酪農産業をリードできる人材**を育成する。

名称変更

上記の教育内容の変更に伴い、別科の名称を、
（旧）別科（草地畜産専修）から（新）別科・酪農専修に変更

帯広畜産大学別科・酪農専修の概要
Dairy Expert Training Program

帯広畜産大学
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

入学定員

実習中心の少数精鋭教育を実現するため15名
（現在の入学定員30名）

カリキュラム

酪農家としてのDay One Competenciesを達成するための実践教育プログラム

教育資源

ISO22000認証牧場
FSSC22000認証工場
乳牛180頭、飼料作物圃場120ha
売上1億円の実践経営

【新しい別科：令和２年度入学生カリキュラム】
理論と実践で酪農のエキスパートを目指す教育プログラム

①酪農に特化したエキスパートの育成

②FSC職員の教育参加（実務指導）

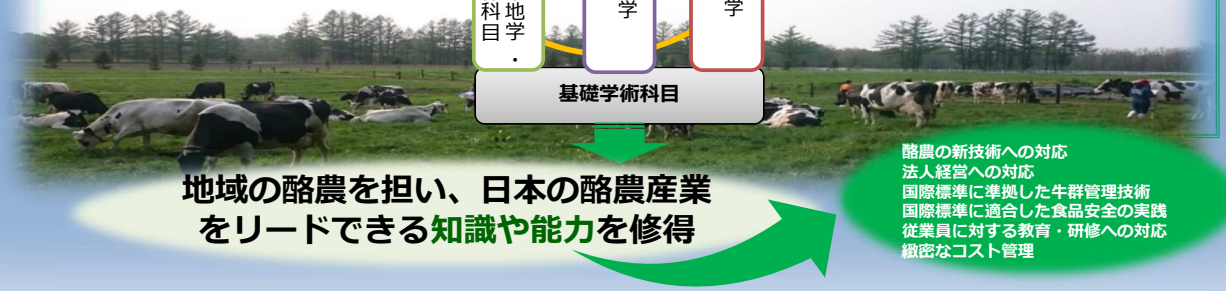
③様々な技能・資格が取得可能な魅力ある教育プログラム

④ISO22000やFSSC22000の食品安全管理システムの有効活用

－総合実習科目－
- 酪農実習
- 特別実習
- 酪農インターンシップ

専門教育科目
- 畜産学・草地学・作物学関係科目
- 農業機械学関係科目
- 農業経営学関係科目

基礎学術科目



地域の酪農を担い、日本の酪農産業をリードできる知識や能力を修得

酪農の新技術への対応
法人経営への対応
国際標準に準拠した牛群管理技術
国際標準に適合した食品安全の実践
従業員に対する教育・研修への対応
緻密なコスト管理